

令和7年1月吉日

保護者の皆様

文命中学校の新しい制服の在り方検討委員会
開成町教育委員会教育長
開成町立文命中学校長

今後の文命中学校の新しい制服の在り方について（お知らせ）

寒中の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より、本町の教育行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本町では令和6年9月から、文命中学校の新しい制服の在り方について、検討を重ねてまいりました。

また、12月からは保護者代表等の方々のご協力を得て検討委員会を設置し具体的な協議を行っているところです。

つきましては、今後の制服の在り方についての方向性を次のとおり、まとめましたので、お知らせいたします。なお、これまでの経緯や資料については、開成町のホームページに掲載しておりますので、併せてご参照ください。

※URL リンク・QR コードについては本資料の最後に記載します。

1. 概要

現在、文命中学校では、「黒色の詰襟服とスラックス」または、「紺色のセーラー服とスカート」（※いずれも冬服）の制服のいずれかを選択して着用しています。

これは、1953年度に制定され、翌1954年度から着用開始した制服（制定当時は「校服」と表現）です。以来、70年間、着用してきた伝統的な文命中学校の制服ですが、この間、生徒を取り巻く社会環境は、大きく変化しています。また、令和6年9月に実施した児童生徒及びその保護者に実施したアンケートの結果から様々な課題を把握したことから、文命中学校の新しい制服の在り方について、どのようにしていくのがよいのか、検討委員会を設置し、検討を開始することとしました。

2. 現在の制服の課題

アンケートの結果から、現在の制服には次のような課題があることが確認されました。

- ・現在の制服の着用頻度の少なさ。
- ・値段が高い。
- ・女子は、夏服も購入するため、費用負担が多い。
- ・サイズ変化に対応しづらい。
- ・LGBTQ等の「多様な性のあり方」に配慮することが難しい。
- ・セーラー服の下がスカートしか選択できない。
- ・暑さ・寒さに対応しにくい（温度調節が難しい）。
- ・近年の気温の上昇やエアコンの利用などによる気温変化に対応しにくい。
- ・セーラー服は、着脱に時間がかかる。
- ・私服着用の希望が一定数ある。

3. 制服の購入や選定に関する課題

制服の検討をとおして、次のような課題も確認されました。

- 「制服等の購入にあたっては、保護者の経済的な負担が過重なものとならないように留意すること」「保護者ができる限り安価で良質なものを購入できるよう努めること」が平成30年3月に文部科学省から教育委員会へ通知されている。
- 保護者にとっては、制服の購入に際し、選び方や適正な値段が分かりにくい。
- 一般的な衣服については、良質で安価な衣服が手に入るため、現在の制服価格とのつりあいが感じられない。そのため、制服を不要と考え、私服を可とするべき考え方も多い。
- 現状、中学校での着用機会自体が少ないため、不要と考える世帯が多い。

4. 新しい「制服のあり方」の方針

(1) 制服の必要性

制服のあり方を検討する中で、次の理由から、「制服はある方がよい」と考えました。
(アンケートでは、全てのカテゴリーの平均で62%が「制服はあった方がよい」、38%が「制服はない方がよい」と回答いただきました。)

- ・入学式、卒業式等の行事や高校の入学試験等においては、フォーマルな服が必要となる。(学校教育の視点からの場に応じた服装)
- ・制服による平等性の向上、経済的背景に関わらず平等性が保たれる。
- ・学校生活を私服にした場合、服を購入したり、選んだりする手間がかかり費用もかかる。
- ・制服をなくし、各家庭でフォーマルな服を用意すると、さらに費用がかかる。
- ・神奈川県内407の中学校で、制服をなくし私服にしているのは11校のみであることから、一定の規準を設けた制服があった方がよいと考えられる。
(令和3年度現在)

(2) 新しい制服の在り方の具体的な方向性

① 新たな制服の方向性

現在の制服は残しつつ、新しい選択肢を設ける。

((ア) 詰襟服・(イ) セーラー服・(ウ) 新しい制服の3パターンから選択できるようにする。)

○追加する新しい制服の考え方

- ・自宅で洗えるものとする。
- ・スカートやスラックスを選ぶことができるブレザータイプのものにする。
(オールシーズンのもの)
- ・機能性が高く、動きやすいものにする。
- ・できるだけ、経済的負担が少ないものにする。
- ・暑さ、寒さに対応するため、調整しやすいものとする。(ブレザータイプにすることで、上着を脱いだり、下にセーターを着たりすることができるようにする)
- ・価格は、少しでも安価に制服が購入できるよう努める。

○その他、全般的な事項

- ・シャツ、ブラウス等は、白を基調としたものであれば、量販店等、市販のものでよいこととする。
- ・夏はシャツ、ブラウス等に加えて、無地のポロシャツ(白又は紺)の利用を可とする。(令和7年度から)

② 配慮事項

- ・当面の間3パターンの制服を選択できるようにする。
(変更時に、既に現在の制服を利用している(持っている)生徒は変更しなくてよい)

【参考】:「公立中学校における制服の取引実態に関する調査」(平成29年11月29日公正取引委員会)

(3) 新しい制服決定に向けた今後の方向性

- 販売店からサンプルを集め、デザインや価格等を踏まえ選考する。
 - ・選考に際しては、保護者や子どもたちにもアンケートをとり、その結果を参考とする。
- メーカー1社の独占となる「メーカー一括方式」ではなく、制服の仕様を各メーカーで共有し、各社が製造する「分納(併売)方式」を採用する。これにより、各メーカーと各販売店の競争を促し、良質で安価な制服が購入できるようにする。
- 制服の仕様は、デザイン(色)や型(形)は指定するが、生地品質や性能までは指定しない。これにより、各メーカーがオリジナルの素材等を採用して製造できるようにする。また、可能な限り安価な制服も製造できるようにする。

5. 新しい制服の導入時期等について

(1) 新しい制服を追加導入する時期

令和8年4月(現在の小学5年生の入学時)から

(2) 在校生及び令和7年度入学生徒(現小学6年生)への配慮について

4.(2)の①に記載した「無地のポロシャツ(白又は紺)の利用」については、令和7年度から導入を開始する。

(3) 令和8年4月導入に向けた今後の予定

令和7年2月～3月	新しい制服の候補サンプル（3点程度）の決定
令和7年4月	サンプルの展示（学校・開成町役場）
令和7年4月～5月	保護者や児童生徒を対象としたアンケート（投票）
令和7年6月	新しい制服の決定
令和8年4月	導入

6. おわりに

これまで行ったアンケートでは、様々なご意見をいただきました。その結果、「制服のあり方」に係る様々な課題を真摯に受け止めさせていただくことができました。子ども達のために、よりよい制服を選ぶとともに、その適切な運用を学校と一体となって取り組んでまいります。今後も引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■文命中学校の新しい制服の在り方の検討に関するホームページ

URL：<https://www.town.kaisei.kanagawa.jp/info/2139>

QRコード：

